

まちとみずとひとをつなぐ
だんだんばたけの遊歩道

愛称募集!

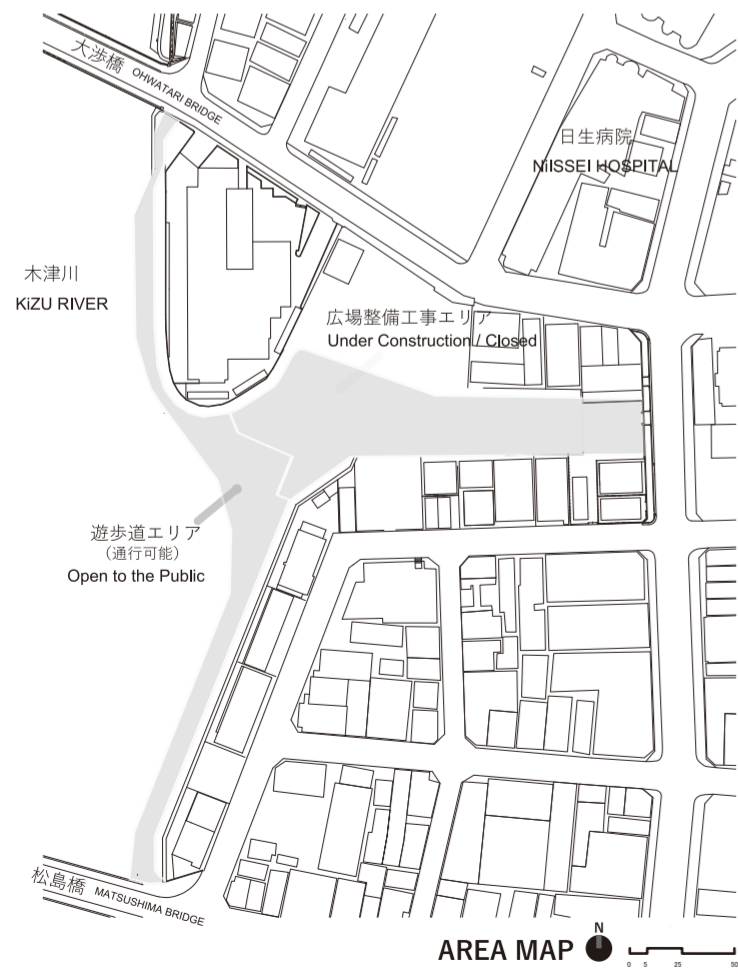
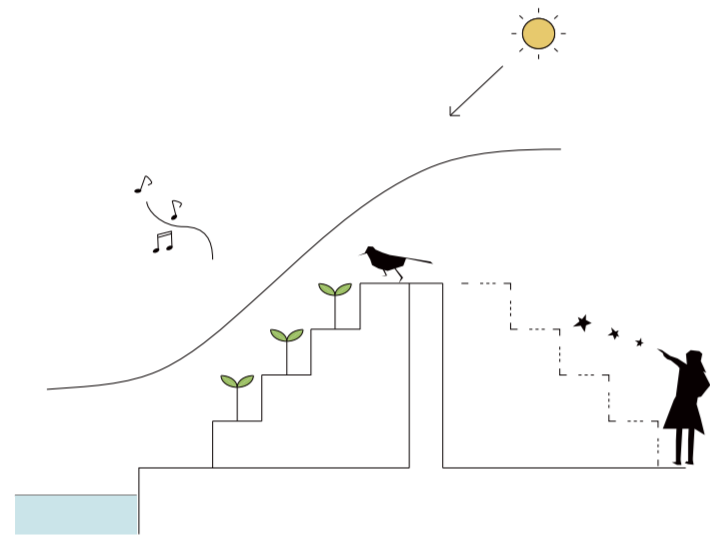
2月10日17時まで

NICKNAME, PLEASE! 木津川遊歩空間 / 大阪府大阪市西区立売堀6丁目～新町四丁目 / 用途：遊歩道 + 広場

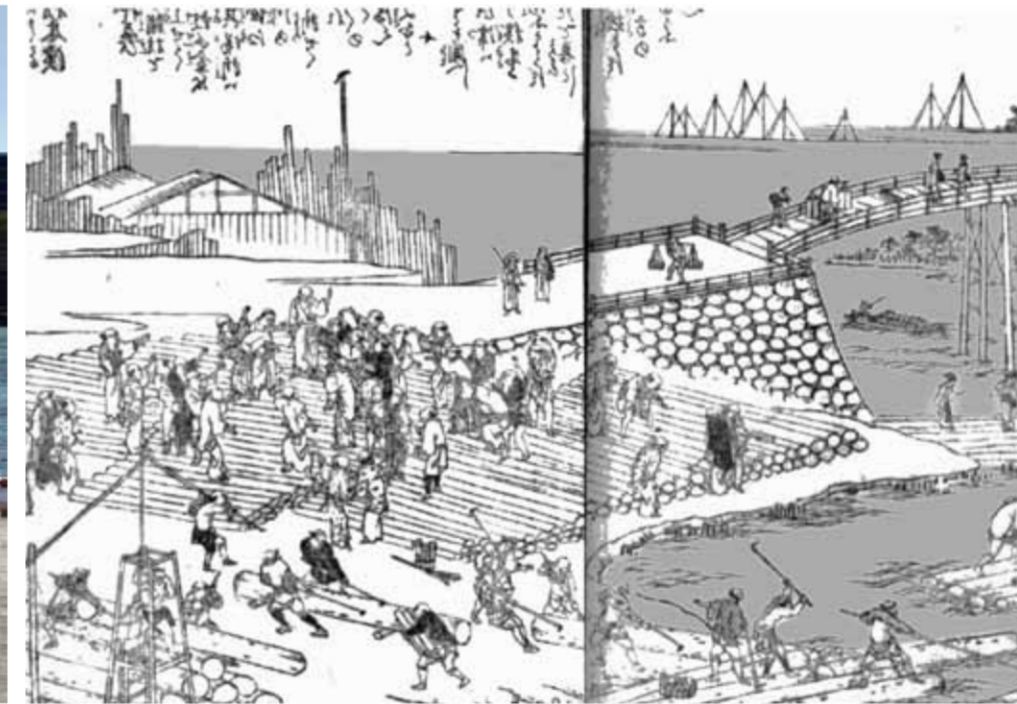
大阪府では、水都大阪再生の取組の一環として、水辺の回遊性向上のため、一級河川木津川の松島橋から大渉橋の左岸側において木津川遊歩空間を整備しており、平成28年3月に遊歩道部分をオープンし、引き続き広場部分を含めた全面オープンに向けて整備を進めています。

この事業では、大阪市西区において、貴重な親水性を有する同エリアを、新しいまちの資産として価値を高めていくため、景観性と地域による利活用を重視しながら、行政、地域、大阪府江之子島文化芸術創造センター、NPO団体、デザインコンペ最優秀者等が連携して事業を進めております。平成29年3～4月の全面オープンに併せて、より地域住民に親しまれる場所となるよう、遊歩空間の「愛称」を募集いたします。

木津川遊歩空間の特徴



水辺を身近に感じられる場所です。



「立売堀（いたちぼり）」は近世には材木浜とよばれる材木市場でした。



地域の人が花を植えたり、ヨガをしたり、いろいろな活動をしています



だんだんばたけのような形状が特徴です。



遊歩道前の水際にはカモがたくさん休みにきます。



ひな壇状の地形がまちと川をつなぎます。